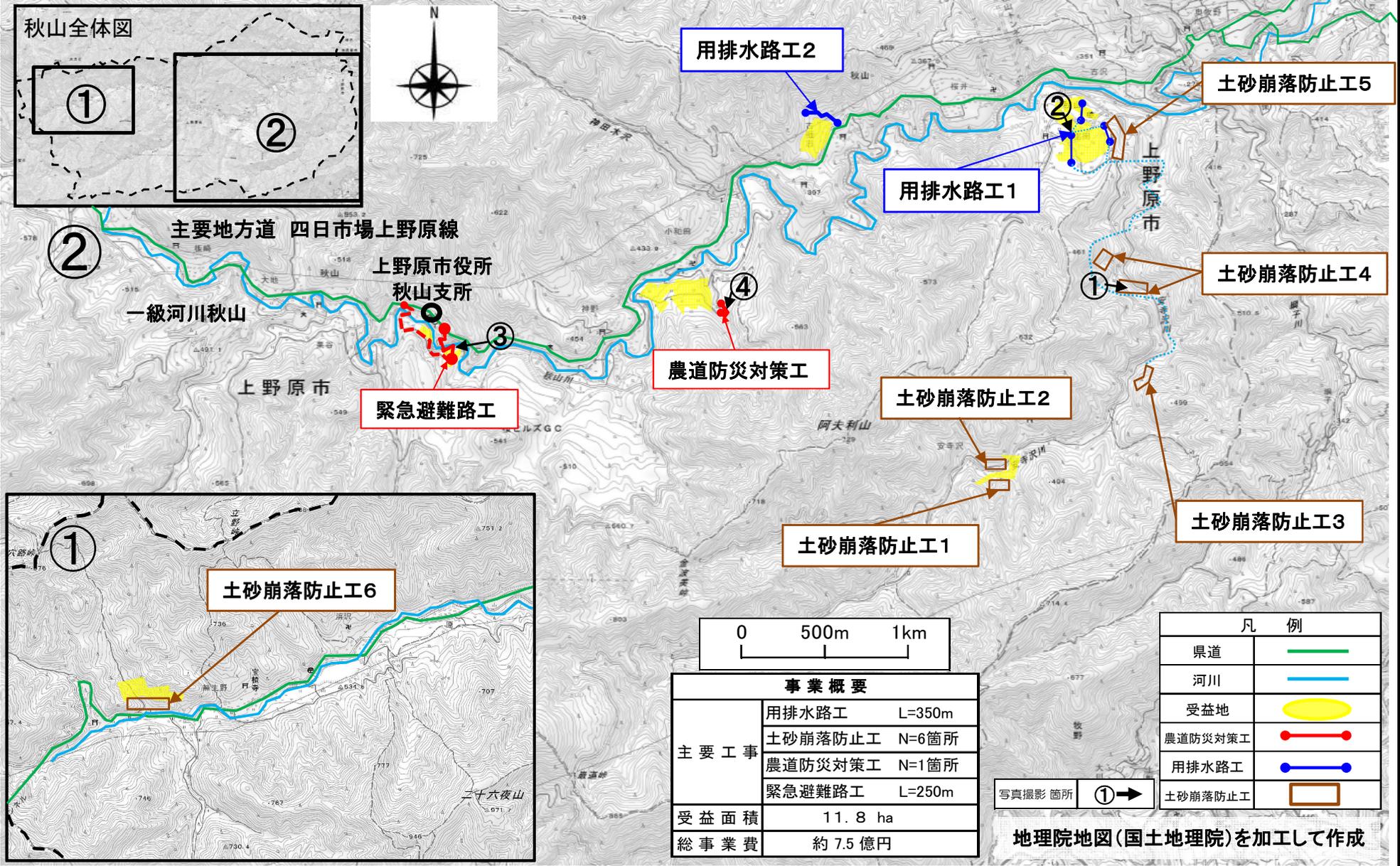


1. 事業説明シート

事業名	農地防災事業 [農村災害対策整備事業 (国補)]	事業箇所	上野原市秋山	地区名	あきやま 秋山	事業主体	山梨県																																	
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																				
<p>①課題・背景</p> <p>本地区は、都心部からのアクセスが容易である事に加え、緑豊かな自然環境が保全されている地域であり、都市部からの来訪者が多く、市民農園や直売所を核とした農業と観光の融合による地域間交流が盛んに行われている。</p> <p>一方、農村集落の大半が山間部に近接していることから台風や集中豪雨などの自然災害の影響を受けやすく、法面の崩壊や水路の溢水により農地や農業用施設に土砂が流れ込み、地域全体に被害が生じている。</p> <p>このため、農地や農道、水路などの保全のための防災対策を早急に進め、防災減災機能の向上、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るものである。</p>				<p style="text-align: right;">妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・本地区は災害の未然防止を目的とした防災事業であり、大規模地震対策特別措置法第3条第1項に基づき指定された地域での対策として行政が行うべきである。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・土地改良法施行令第50条7の8により県が事業主体となって行うべきである。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>750 百万円</td> <td>工期</td> <td>R6 ~ R11</td> <td>基準年</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>858 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1,077 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>571 百万円</td> <td>災害防止効果</td> <td colspan="2">596 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費用</td> <td>286 百万円</td> <td>一般交通等経費節減効果</td> <td colspan="2">483 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>維持管理費節減効果</td> <td colspan="2">-2 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B/C</td> <td>1.3</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・農業集落の安全を考慮する上で必要な整備量としている。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・受益面積規模、事業対象工種から、農村災害対策整備事業で対応することが妥当である。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・工事の際は、環境等への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・早期着工の要望あり。</p> <p style="text-align: center;">総合評価 [貢献度ランク：a]</p>				総事業費	750 百万円	工期	R6 ~ R11	基準年	R5	経済効率性	費用	858 百万円	便益	1,077 百万円		建設費	571 百万円	災害防止効果	596 百万円		その他費用	286 百万円	一般交通等経費節減効果	483 百万円				維持管理費節減効果	-2 百万円			B/C	1.3			
総事業費	750 百万円	工期	R6 ~ R11	基準年	R5																																			
経済効率性	費用	858 百万円	便益	1,077 百万円																																				
	建設費	571 百万円	災害防止効果	596 百万円																																				
	その他費用	286 百万円	一般交通等経費節減効果	483 百万円																																				
			維持管理費節減効果	-2 百万円																																				
	B/C	1.3																																						
<p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○農業用排水能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設老朽度 使用年数 (50年) ÷ 耐用年数 (40年) = 1.25 ≥ 1.0 ・用排水能力向上率 (計画排水能力 0.245m³/s) ÷ (現況排水能力 0.084m³/s) = 2.91 ≥ 1.0 <p>□副次目標 ○農業生産力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業所得増加額 616千円/ha ≥ 405千円/ha ※ (※評価基準値) <p>□副次効果 ○農地の保全 (農地の埋没の恐れあり)</p> <p>○既存施設の崩壊危険性の排除 (主体構造物である)</p>																																								
(2) 整備内容				(4) 事業位置図等																																				
<p>①整備内容 用排水路工2路線 L=350m、土砂崩壊防止工6箇所 農道防災対策工1箇所、緊急避難路1路線 L=250m</p> <p>②着手年度 令和6年度 ③完成見込年度 令和11年度</p> <p>④総事業費 約750百万円 (国費412.5百万円(5.5/10)、県費217.5百万円(2.9/10)、市費120百万円(1.6/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和6年度</td> <td>測量・設計</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>用排水路</td> <td>110 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>用排水路・土砂崩落防止</td> <td>160 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>土砂崩落防止</td> <td>160 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>農道防災対策・緊急避難路</td> <td>160 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>緊急避難路</td> <td>130 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 —</p>				令和6年度	測量・設計	30 百万円	令和7年度	用排水路	110 百万円	令和8年度	用排水路・土砂崩落防止	160 百万円	令和9年度	土砂崩落防止	160 百万円	令和10年度	農道防災対策・緊急避難路	160 百万円	令和11年度	緊急避難路	130 百万円	<p style="text-align: center;">上野原市役所秋山支所</p> <p style="text-align: right;">地理院地図(国土地理院)を加工して作成</p>																		
令和6年度	測量・設計	30 百万円																																						
令和7年度	用排水路	110 百万円																																						
令和8年度	用排水路・土砂崩落防止	160 百万円																																						
令和9年度	土砂崩落防止	160 百万円																																						
令和10年度	農道防災対策・緊急避難路	160 百万円																																						
令和11年度	緊急避難路	130 百万円																																						

2. 添付資料シート(1)

農地防災事業[農村災害対策整備事業] 秋山地区 一般計画平面図



事業概要	
主要工事	用排水路工 L=350m
	土砂崩落防止工 N=6箇所
	農道防災対策工 N=1箇所
	緊急避難路工 L=250m
受益面積	11.8 ha
総事業費	約 7.5 億円

凡 例	
県道	
河川	
受益地	
農道防災対策工	
用排水路工	
土砂崩落防止工	

写真撮影箇所 ① →

地理院地図(国土地理院)を加工して作成

2.添付資料シート(2)



豪雨により土砂が崩落し水路脇の法面が不安定となっており、浸食がさらに進むと水路本体も崩れるおそれがある。



水路断面が不足しているため排水が農地へ流出する危険性がある。



地域の指定緊急避難路で耐震性能を有していない橋梁について改良を行う。



路側法面の浸食が進んでおり、路肩が崩落する危険があるため、早急な対策が必要となっている。